

## 平成 23 年度 放送番組審議会議事録

審議委員(敬称略)

川崎 嘉元 中村 一男 鎌田 正純 細谷 幸男

### ◆報告事項

古屋)

[番組審議会説明資料]※営業収益の推移・次年度の主要施策資料

会社の営業収益の推移については、1999 年～2011 年度までの営業収益をグラフ化。

見ての通り電障対策や南口再開発などの時期に大幅にアップ。

2011 年度は 35 億を上回り来年は 40 億の営業収益を想定している。

サービスエリアは八王子市の 85%をカバー。

2011 年 7 月のアナログ停波依頼の一服感のため、この傾向は来年も続くと考えられる。

また、投資効果の面からエリア拡張の余地が少なくなっており大幅な加入獲得が困難となりつつある。

NTT も、映像サービスに力を入れているので動画配信の競争が今後ますます激化する。そこで 2012 年度は次の主要施策を実施していく。

・テレメディアブランドを向上し、接続率アップと解約率ダウンを促進。(番組の質向上はも

ちろんだがブランド周知に注力)

・新聞折り込みを利用しタウン情報を介した番組の紹介(地元住民に有益な情報発信、一部営業内容)

・放送とイベントの融合(ミニバスケット大会や知の回廊特別講演の恒例化、番組プロバイダーや

NHK との共催イベントなど、動きのあるテレメディアとしてイベント融合を活発実施)

・a u との共同営業(スマートバリュー)の販売促進

・幹線設備の 2 重化実施に向けた計画決定と一部実施(現状 1 重のため、障害時に復旧終了までサービス停止している。復旧までの間もサービスを続行できるような設備を確立)

川崎委員)

次に、新年度のコミュニティチャンネルについて報告願います。

遠藤)

局で制作の番組(デイリー、商工会議所アワー、知の回廊、市民の広場など)については

来年度も内容に変更無し。

変更がある東京西エリアで制作の番組については東京西エリア制作営業室 室長、清田より説明。

清田)

[2012 上期東京西エリア番組企画資料]※新番組、リニューアル番組紹介資料

次年度上期の番組について、お手元の資料を見ながら各番組

(11FC、JUMP キッズなわとびすと選手権、逸品刑事、東京ビタミン寄席、林家たけ平のふちウォーキング)について説明する。

～各、番組詳細読み上げご説明～

次年度の下期にはコミュニティチャンネルがもう1チャンネル(地デジ10ch)が

増えるに際して、より番組内容を充実させていく。

テレビ加入者、又は視聴者の多くはシニア層。今回もそのシニア層に訴えかけるような番組内容にしていきたい。

鎌田委員)

10chが第2コミちゃんになる場合、現在配信のtvk(テレビ神奈川)はどうなるのか知りたい。第2コミちゃんの設定方法などどうすればいいのか教えてほしい。

遠藤)

第2コミちゃん導入後、自動的にチューナー等がスキャンされ、設定されると思われる。

川崎委員)

その他ディスカッションするテーマを報告願います。

遠藤)

[JCNテレメディアの視聴に関するアンケート報告書]

JCNテレメディアの主力番組(デイリー八王子、特別番組)視聴に関して、

社団法人日本リサーチ総合研究所から2千人を対象にアンケート実施。

～16ページから23ページまでの読み上げ説明～

古屋)

テレメディアはデイリーニュースを最大の主力番組。番組では様々なコーナーを設けているが、地域メディアとして力を入れるべき事ありましたら意見を聴かせてほしい。

中村委員)

興味があり、よくチェックするのはアンケート結果通りイベント情報。

鎌田委員)

私も同様にイベント情報はよくチェックする。イベントが事前にわかればもっと活用できる。

毎回行きたかったイベントをデイリーで知るのはイベントが終わった後、又は直前で、結果行けずじまい。来年こそはそのイベントには行きたいと思っても1年間も覚えてられない。

古屋)

金曜日のデイリーで週末のイベント情報を告知しているので活用していただきたいが、それでは直近すぎるようですか。

鎌田委員)

毎週金曜日の番組を狙って見るという事ができないので、できればもっと早く日々のデイリーでイベントの事前告知すると嬉しい。

細谷委員)

イベント準備情報もニュースの一つになる。ぜひ早めにイベント告知してほしい。また、高尾山は全国的に有名な名所なので、より頻繁にニュースで取り上げるといいと思う。

古屋)

八王子在住でよかったと思うことや、八王子のまだあまり知られていない良いところなどありましたら教えてほしい。

川崎委員)

八王子は、いたるところに豊かな自然があり、気軽に日帰り観光できる地域です。高齢者向けの観光散歩コースなど、もっとアピールできれば、より地元愛が高まると思う。史跡巡りなど半日コースのものがあると思う。

古屋)

観光協会とタイアップし、散歩コース紹介内容を放送できるといい。

中村委員)

高齢で 80 才代になると地元であっても出歩くのが億劫になってしまうので、デイリーであ

き  
る野や自然豊かなところを見て楽しませてもらっている。また、毎週きれいなキャスター  
が変

わって登場するのも見ていて楽しい。

鎌田委員)

曜日毎にキャスターやコーナーを定型化されているので、番組を見て曜日を感じるものが  
で

きていいと思う。

細谷委員)

デイリー八王子の内容を EPG やデータ放送に早めに情報登録すれば前もって番組内容が  
把握できるのでイベントを早めに知ることに繋がり、視聴者がデイリー八王子をもっと活  
用で

きると思う。

川崎委員)

災害時放送についての説明をお願いします。

遠藤)

まずは、2011 年 9 月 21 日に起きた台風 15 号の時のデイリー八王子番組をここで見ていた  
だく。

～DVD 放映～

今流したデイリー八王子は 19 時台以降に放送したデイリー。当日の市内影響 VTR を見せ  
つつ、

スタジオから生で放送した。18 時以降に最新の映像と情報を取り寄せたので、

18 時台に放送したデイリーとは別に生放送した。

台風など、あらかじめ予想できる災害時はスタッフを緊急体制で調整することができるが  
地震の場合は予測できないため難しい。

災害情報発生時の放送体制はお手元の資料通り現在社内でもワークフローを検討している。

L 字の災害情報や全画面静止画情報、画面上部のテロップ速報など、情報収集の流れを想  
定

して調整していきたい。

今回見せた番組についての意見や、その他災害情報について意見をください。

中村委員)

その日は、近所の浅川が氾濫していないか見たくて台風 15 号の天気荒れ狂う中、川まで見に行った。

鎌田委員)

ドキュメンタリーに対する好奇心の心境で、身近な災害映像は見たい。地元の人と同じ気持ち

ちの人が多いと思う。

八王子は台風によりそれほど大災害になるような地域ではないので、非難情報等に力を入れることよりもむしろ台風などにより災害が起きていそうな場所を事前に想定して撮影したものを放送してもらおうと見ごたえがある。

古屋)

それこそがまさにコミュニティチャンネルの存在価値の 1 つだと思う。

細谷委員)

計画停電の情報はコミュニティチャンネルを頼りにしてる。

鎌田委員)

3 月震災後の計画停電などの時期は民放のニュースを見るよりコミュニティチャンネルを見る

方が知りたい情報を的確に知れてよかった。

★その他意見について。

中村委員)

「JCN 八王子」から八王子をとったのはなぜですか。

古屋)

この度、JCN 八王子から『JCN テレメディア』と呼称を変えたことについてですが、ケーブルテレビ業界最大手の J-COM ように JCN というブランドをより強化するため、呼称の初めに“JCN”をつけた。

また、“テレメディア”の方を残し、“八王子”をとったのは弊社サービスエリアがあきる野、日の出町もあることと、テレメディアという名前が地元での知名度が高いという理由から。

鎌田委員)

以前、ケーブルテレビはエリアごとに 1 局が地域独占で営業していたが、今はそうではな

くなった

と聞いたが実際どうなのか知りたい。

古屋)

確かにそうになっているが、市の世帯数の多い一部だけ導入という都合のいいようにはいかないの

でなかなか後から他の局が入ると言うことは難しい。

鎌田委員)

グループ局メリットを活かし、近隣他局のニュース映像も活用してはどうか。

中村委員)

南大沢はデイリー八王子が流れているのか？

遠藤)

多摩テレビへ番組交換を行い、1週間遅れで流れている。

中村委員)

一般市民が無料で情報を得る媒体として、ショッパー、市からの案内など色々あるが、ケーブルテレビの無料情報サービスや番組内容をもっと勉強し活用しなければと思った。

古屋)

NTT が「光」や「FTTH」をはりめぐらせた費用を回収できていない中、インターネットや伝送路だ

けの販売では回収できないため、動画などのコンテンツに力を入れている。

NTT や、様々な携帯端末企業などとの映像コンテンツ競争が過熱する中、ケーブルテレビの生き残りツールとして

最終的なものは地域メディアであると考えている。

地域メディアのコミュニティチャンネルをますます強化していきたい。